



木津川市

第10号

議会だより



本会議審議	2・3
決算特別委員会	4・5
補正予算特別委員会	6
常任委員会	7～9
清掃センター建設特別委員会	10

組合議会報告	10
広報編集委員会	11
一般質問	12～23
わたしの意見	24

みんなイキイキ
(木津運動会)

アスピアやましろなど

料金を統一

9月定例会が、9月2日から10月1日まで開催。同意3件、決算認定12件、議案11件、報告9件を審議し、すべて原案どおり同意・認定・可決した。

激変緩和の 修正案否決

社会教育10施設の使用料金を原則時間単位で統一する。(22年4月実施)

なお、登録サークル団体の減免率を2年間緩和する修正案は否決された。

修正案発議者

村城 恵子 曾我千代子
深山 國男 酒井 弘一
山本 喜章

原案賛成討論

受益者負担を取り入れた1時間単位の料金設定は、より利用しやすく、公平である。修正案は、団体の減免率に差異が生じ、不公平である。

吳羽真弓

修正案賛成討論

そもそも不十分な議案提案である。修正案は、2年間限定で加茂の市民には激変緩和を、木津・

山城の市民にはさらなる便宜を図るものである。

酒井弘一

修正案賛成少数で否決
(賛成10人・反対15人)

原案賛成多数で可決
(賛成15人・反対10人)

新給食センター
6億8565万円
で契約・着工

月完成予定の給食センターは16社で入札し、落札率87%で(株)鍛治田工務店が落札した。

A 教育長 来年4月の給食実施を最優先に合併浄化槽で実施。府の排水基準をクリアし地元理解を得ている。

Q 排水設備と安全性は。私は。

合併2年目の決算は、収入232億2017万円。支出228億1207万円。積立金(貯金)は97億2305万円。地方債および債務負担行為額(借金)は343億7118万円の決算となつた。

Q 滞納が増加した。不況と高齢者の負担増、市民の増税で貧困と格差が拡大しているが。

A 市長 雇用の悪化が考えられる。有効な施策を進める。

Q 学研土地開発公社の塩漬土地の活用は。

A 総務部長 検討委員会で有効活用を検討しきれない土地は売却を考えている。

賛成多数で可決
(賛成20人・反対5人)

一般会計決算

反対討論

進出企業優先の学研開発で住民の暮らしと福祉を後回しにした。

不必要な同和関連の支

出を続け、一部運動団体を優遇した。宮嶋良造賛成多数で認定(賛成20人・反対4人・棄権1人)



公民館サークルの発表会

いずみホール・加茂文化センター・

社会教育施設

使用



建設が始まった新給食センター

国民健康保険
会計決算

後期高齢者
医療会計決算

監査報告(要約)

一般会計補正予算

旧3町統一の国保税

初年度から見直し相次ぐ

①経常収支比率が1・7
ポイント悪化したのは、
生活保護費などの社会

保障費が伸びたため。
②今後、社会保障費の大

反対討論

合併後、国保税は平成
20年度に統一され、大幅
な値上げとなつた。
さらに22年度に向けて
値上げの検討がされてい
る。滞納世帯が広がる可
能性がある。 森岡 譲

反対討論

75歳以上を他の世代か
ら切り離し、際限のない
負担増と差別医療を押し
つける制度である。

保険料は、2年毎に引
き上がるしくみがある。
森岡 譲

保育園新・増設補助に
2億8452万円

現予算の総額に4億3
636万円を追加した。

収入は、固定資産税、
地方交付税、府ごども未
来基金施設整備で3億2
579万円を増額。

合併特例がなくなれ
ば、地方交付税が減額
される。行財政改革の
必要性、重要性はさら
に増す。

支出は、京都地方税機
構の負担金、梅美台の保
育園新設や母子家庭への
支援に3億585万円を
増額。総額247億23
69万円とした。

賛成多数で認定(賛成21
人・反対3人・棄権1人) 賛成多数で認定(賛成21
人・反対3人・棄権1人)

一般会計における主要財政分析指標の年度別推移

区分	20年度	19年度	数値の説明
財政力指数(3カ年平均)	0.684	0.662	1.00に近いほど財源に余裕あり
経常収支比率(%)	92.0	90.3	低いほど財政構造に弾力性あり
公債費比率(%)	12.1	12.3	支出に占める返済金の割合

賛成多数で可決(賛成21
人・反対4人) 酒井弘一

補正予算には税機構の
分担金がある。同機構は、
計画がずさん、国保税ま
で対象とする、市民に全
く認知されていないなど
問題と不安がある。反対。

反対討論
A 副市長 候補地を絞り
込む予備的アセスメントだ。

特別会計(平成20年度特別会計決算)

千円以下の金額は切り捨てのため合計と合わないことがあります。

特別会計名

国民健康保険
老人保健
後期高齢者医療
介護保険
公共下水道事業

収入額

54億8486万円
5億2148万円
4億8339万円
31億3849万円
30億4255万円

支出額

53億1402万円
5億2147万円
4億7033万円
30億6648万円
30億2702万円

特別会計名

簡易水道事業
4財産区
水道事業
(収益的収支
(資本的収支

収入額

2億8964万円
6203万円
30億4119万円
14億4081万円
16億37万円

支出額

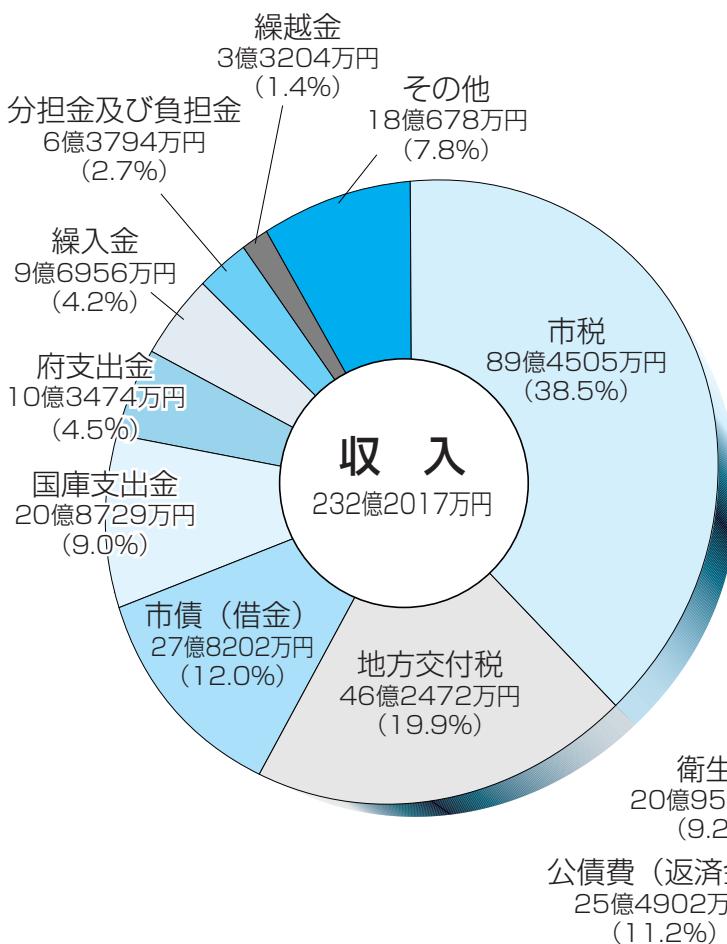
2億8539万円
5998万円
41億6110万円
13億1547万円
28億4563万円

どう生かされたか232億円

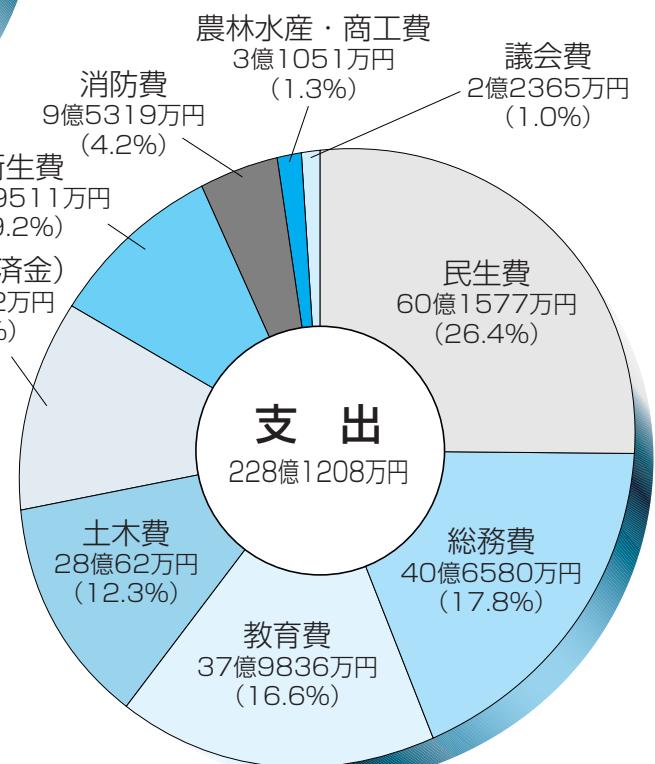
決算特別委員会

決算特別委員会は、議長・監査委員を除く24人で構成し、委員長に中谷裕亮、副委員長に西岡政治を選出し、9月28日から30日の3日間にわたり一般会計を審査した。

20年度決算を収入の状況、各分野の施策の成果など、さまざまな角度から質疑応答し、賛成多数で認定した。



平成20年9月にオープンした市役所



千円以下の金額は切り捨てのため合計金額と合いません。

平成20年度一般会計の決算の主な事業

庁舎建設事業	14億5473万円
ごみ処理	8億1514万円
公共下水道事業特別会計繰出金	8億1284万円
木津駅前土地区画整理事業	7億5599万円
生活保護費支給事業費	4億5662万円
中学校施設管理事業費 (新設中学校設計業務・扇風機設置など)	2億8887万円

木津学校給食センター管理事業 (関公費償還金・コンテナ洗浄機購入など)	1億2094万円
コミュニティバス運行事業	9499万円
北綿田地区ほ場整備事業	2975万円

(千円以下の金額は切捨て)

主な質疑

〈市長公室・総務部〉

次年度へ繰越事業増える

Q 全体収入が当初予算や昨年度決算より下がっているが、その原因は。

A 財政課長 不況に關わる国の大型補正も含め、予定した事業が21年度に繰り越された。その結果補助金や地方債の未収額が増えたため。

伸びた扶助費

占用料を上げよ

討論

違法的な随意契約による事業実施、実行性に乏しい序舎周辺道路計画など、20年度決算は、計画性がなく反対。

Q 扶助費が15・6%伸びた。生活保護費の影響か。

A 保健福祉部長 伸びた主な原因是、児童手当、障害者福祉の扶助費。生活保護費も25・7%伸びている。

Q 道路占用料を引き上げ、収入増を図るべき。

A 管理課長 国道の占用料は道路法で定められている。地価を基準として算定し、適正な占用料を撤収する。

反対討論
地元自治体の負担増。法的根拠のない同和関連事業への支出。財政が苦しむが、市民の暮らし福祉の向上の努力を怠った。

賛成多数で認定
(賛成19人・反対4人)

〈生活環境部・保健福祉部〉

敬老会の参加者減る

Q 敬老会の参加者が減っている。開催方法、場所を検討すべきでは。

A 副市長 開催後に、来年の実施を検討している。しかし、来年度も同会場で実施し、状況を検証したい。

ゴミ分別の推進を

Q 資源ごみの収入が1900万円あるが、市民の分別努力に報いる施策を考えているか。

A まち美化推進課長 今後調査、研究する。

随意契約の公表を

Q 20年度落札率は。総合評価方式の取り組みは。随意契約を公表せよ。

A 指導検査課長 総入札件数130件で73.3%。総合評価方式は1件実施した。

副市長 隨意契約は、説明責任を果たしていく。

〈建設部・教育委員会〉

増える鳥獣被害

幼稚園は満杯

Q 有害鳥獣の生息数や、被害の状況と対策は。

A 農政課長 増加傾向にある。状況把握に努めたい。

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 納付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

で対応していく。

〈市長公室・総務部〉

が問題となつてくるが、どのような対策を進めるのか。

A 財政課長 事業を見直すなど行財政改革を進めて、財政の中長期計画をたてて進める。

〈生活環境部・保健福祉部〉

敬老会の参加者減る

Q 全体収入が当初予算や昨年度決算より下がっているが、その原因は。

A 財政課長 不況に關わる国の大型補正も含め、予定した事業が21年度に繰り越された。その結果補助金や地方債の未収額が増えたため。

Q 全体収入が当初予算や昨年度決算より下がっているが、その原因は。

A 財政課長 不況に關わる国の大型補正も含め、予定した事業が21年度に繰り越された。その結果補助金や地方債の未収額が増えたため。

滞納減らせ

Q 市税の不納欠損に至るまでの手立ては。

A 市税課長 不納欠損を減らす努力を。

A 収納対策課長 納付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

Q 今後、交付税の削減を進め、収納率の向上に努力する。

10年後に交付税減少

A 収納対策課長 紳付をうながすため、催告書を送付し、納付相談を行ってきた。計画的な納付を進め、収納率の向上に努力する。

Q 総合がん検診にい臓がんの実施を。

A 健康推進課長 年々総合がん検診受診者が増えている。今後、国・府の動向を調査し予算を含めて検討する。

Q 今後、交付税の削減

10年後に交付税減少

常任委員会のうごき

加茂4財産区の決算を審査

総務委員会

9月4日に委員会を開会し、認定4件、議案1件を審査した。

全議案認定可決

内容は小谷下墓地の土留め工事。

Q 旧木津町の財産区はどうなっているのか。
A 財産区財産に準ずる財産の取扱要綱に基づき処理し、一般会計で計上する。

4財産区決算

財産区の自治振興補助金183万円を増やした。

全員賛成で可決



小谷下墓地

小谷下墓地の工事

全員賛成で認定

旧北村旧兔並村旧里村

Q 4財産区決算の中で、「旧北村旧兔並村旧里村」の繰入金が多いのはなぜか。
A 4、5年に1回の加茂笠置組合からの配分金があつたため。

国保決算 実質2億5千万円赤字

厚生委員会

9月7日に委員会を開会し、認定4件、議案4件を審査した。

全議案認定可決

Q 保険料滞納の理由は。
A 支払いの仕組みが途中で変わったことも一因。
Q 第3期最終年の介護保険決算。
A 介護保険基金3億円

来年度、国保税値上げか

20年度国保会計決算は、国保税の大幅値上げにもかかわらず、実質2億5千万円の赤字という厳しい決算となつた。

Q 20年に国保税を値上げしたばかりなのに、来年また値上げするのか。

A 市長が国保運営協議会に税率改定を諮問した。

清算の老人保健会計

後期高齢者医療保険の創設で、老人保健制度は廃止。決算額は、前年度対比88・3%減。

全員賛成で認定

スタートから制度見直し

Q 健康づくりによる予防が大事ではないか。
A 保健福祉部全体の課題として考へる。

後期高齢者医療保険は、当初から制度の見直しがされた。運営は、府の広域連合で実施。

Q 今年10月から国の少子化対策として、出産育児一時金が4万円アップし、42万円になる。
A 全員賛成で可決

出産育児一時金42万円に

Q 旧加茂町4財産区の特別会計の決算認定。
A 4財産区決算の中で、「旧北村旧兔並村旧里村」の繰入金が多いのはなぜか。
A 4、5年に1回の加茂笠置組合からの配分金があつたため。

全員賛成で認定

全員賛成で認定

消費生活センターを新設

産業建設委員会

9月8日に委員会を開会し、認定3件、議案2件を審査した。

全議案認定可決

■ 借り換えの効果は
1億8000万円

公共下水道会計は、19

年度より約1割増30億4
255万円の決算内容で
あった。

Q 20年度の繰り上げ償
還の効果は。



期待される消費生活センター

A 6%以上の利率を
2%前後に借り換え、約
1億8000万円の軽減
効果があった。

全員賛成で認定

■ 老朽管の改修は

簡易水道事業の主な事業は、基幹改良と維持管理に約2億円を使う。

Q 老朽管の布設替えの
進み具合は。

A 20年度末32%完了。
予算の平準化を図るため、
27年度まで延長。

全員賛成で認定

■ 水道事業の健全化と
施設整備を目標に

Q 給水量が減っている
木津南地区開発のため
に配水池を造り配水管を
布設した。

全員賛成で認定



古くなった水道管

全員賛成で可決

A 生活相談員2人の常駐。週一回は相談員が巡回する。

Q 相談体制は。

本市と相楽郡4町村の消費生活センターをつくる。内容は、消費生活に関する相談、トラブル解決のあっせん業務を行なう。来年3月1日から業務を開始する。そのための規約を変更した。

■ 消費生活センターが
相楽会館に

A 生活相談員2人の常駐。週一回は相談員が巡回する。

Q 相談体制は。

本市と相楽郡4町村の消費生活センターをつくる。内容は、消費生活に関する相談、トラブル解決のあっせん業務を行なう。来年3月1日から業務を開始する。そのための規約を変更した。

全員賛成で可決

A 木津南地区開発のため
に配水池を造り配水管を
布設した。

Q 給水量が減っている
木津南地区開発のため
に配水池を造り配水管を
布設した。

■ 水道事業の健全化と
施設整備を目標に

A 給水量は、旧木津町
で増えた。旧加茂・山城
町では減った。

Q 給水量は、旧木津町
で増えた。旧加茂・山城
町では減った。

■ 水道事業の健全化と
施設整備を目標に

A 基金は現在34億円。
年度に約16億円使う。
約5億円の収入見込み。
があり、21年度末、約23
億円となる見込み。

■ 水道業務用無線拡充に
453万円

A 旧木津町時、電波管
理局の許可を受けたもの
であり、2月には通信テ
ストも実施している。

公民館など 使用料の改正

文教委員會

9月9日に委員会を開会し、議案1件を審査した。

議案可決

流会館は、指定管理者制度だ。どちらに統一する

▲直営か指定管理かを、
今後も議論して決断する。

議論を重ねた結果、
多い50%減免とした。

10 力所の社会教育施設の料金統一と減免割合の統一をするもの。

Q 社会教育委員会は、
十分に審議したか。
A 2年間月1回開催、
平成21年は3つの専門部
会を作り月3回開催した。

Q 利用者アンケート結果の判断はあいまいだ。受益者負担ありきで利用者への支援が見えない。アンケートでは、受益者負担は止むを得ない

社会教育委員は情報
を発信しながら、市民の
意見を聞いて議論してき
た。

反対討論

村城惠子

賛成多數で可決
(賛成4人・反対1人)

反對討論

10施設

- ・加茂文化センター
 - ・山城総合文化センター
 - ・中央交流会館
 - ・東部交流会館
 - ・西部交流会館
 - ・南加茂台公民館
 - ・瓶原公民館
 - ・当尾公民館
 - ・中央体育館
 - ・市民スポーツセンター



サークル活動にはげむ市民

候補地選定の基準づくりの報告を受ける

清掃センター建設特別委員会

選定には、住民理解が大切。説明会は、審議会の決定後すぐに行うべき。

A 時期は、決定前と後の2つの考え方がある。

9月14日に委員会を開会し、第4回清掃センタービル建設審議会の報告を受け、質疑した。

アセスメントは、今までの評価項目と重ならないよう。

A 評価方法は、審議会で議論する。重複しないように配慮する。

Q 1ヵ所に絞り込む前に、地元の意向を聞くことが必要。

A 説明会の時期は、審議会の意見も参考に、総合的に検討する。



平成15年から稼働のクリーンセンターかしはら

組合議会報告

副議長に和田氏

(加茂笠置組合)

7月17日臨時会を開会。

副議長に和田榮雄さん(笠置町)、議会運営委員長に西岡良祐さん(笠置町)、同委員に西村典夫さん(笠置町)を選んだ。

公務災害補償等に関する条例等の議案を審議し、すべて全員賛成で可決した。

20年度会計決算の認定

(後期高齢者医療広域連合)

9月5日京都市内で定例会を開会。同意3件・

承認4件・認定2件・議案4件・発議1件を審議し、すべて承認、認定、可決した。



後期高齢者医療広域連合議会

Q 候補地選定は、点数化も一つの方法。予備的予定している。

Q 候補地選定は、点数化も一つの方法。予備的

後期高齢者医療制度の存続を決議

制度の堅持と改善を求

める決議が議員発議で出された。質疑討論し、賛成19、反対8、棄権1の賛成多数で可決した。

※木津川市議会は、制度の廃止を求める意見書を昨年6月に国に送付している。

クリーツク評価は

広報編集委員会

“A”

広報委員会の来庁相次ぐ

(合計5回)

2月19日、兵庫県淡路市議会の広報広聴調査特別委員会が来庁。
6月29日、岡山県瀬戸内市議会の広報編集特別委員会が来庁。

ルビノ京都堀川にて、広報コンサルタント深沢徹氏の「議会広報ここがポイント」のクリニックを受ける。

評価基準は左記の三点
①編集の基本姿勢
②文章・用語・表記
③編集・印刷技術

総合評価は「基本・技術とも充実したAクラスの広報」と嬉しい評価だった。この評価に負けず、市民の方にとって、行政の提案内容や議会の審議内容がわかりやすく、読んだりをこれからも目指したい。

深沢氏から、記事の順序を再考するべき。紙面の上下にある（木津川市議会だより）のダブりは不要ない。本文の文字を0・5ポイント大きく（平体文字）すればもっと読みやすくなるなどの指摘を受ける。

逆に、予算の数字表記が「お役所式」でなく、一般向けの表現で正解である。代表・一般質問

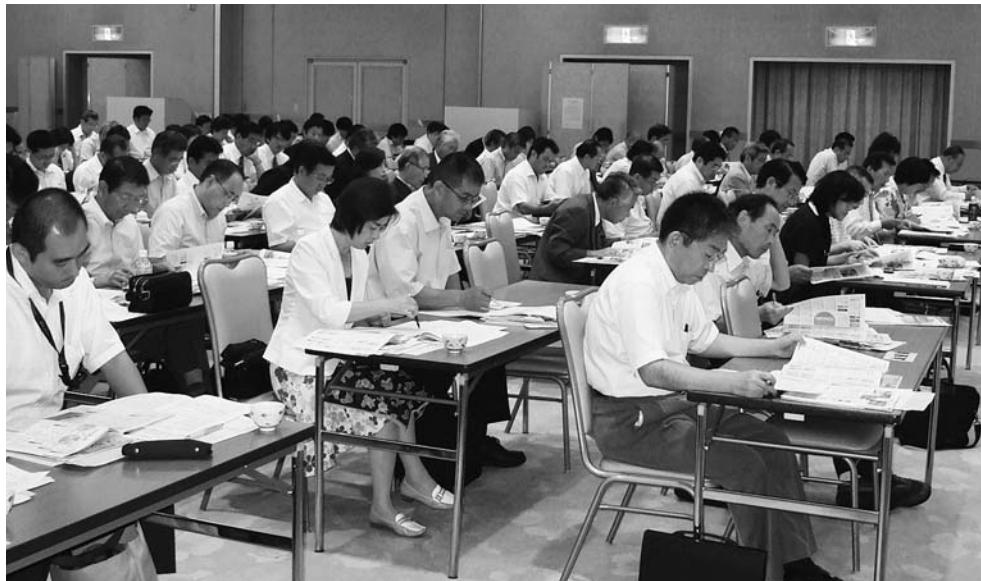
のQA見出しは具体的で分かりやすい。「わたしの意見」は好企画と評価を受ける。より積極的な対話のある企画も考えてはとの助言を受けた。

評価基準は左記の三点
①編集の基本姿勢
②文章・用語・表記
③編集・印刷技術

総合評価は「基本・技術とも充実したAクラスの広報」と嬉しい評価だった。この評価に負けず、市民の方にとって、行政の提案内容や議会の審議内容がわかりやすく、読んだりをこれからも目指したい。

深沢氏から、記事の順序を再考するべき。紙面の上下にある（木津川市議会だより）のダブりは不要ない。本文の文字を0・5ポイント大きく（平体文字）すればもっと読みやすくなるなどの指摘を受ける。

逆に、予算の数字表記が「お役所式」でなく、一般向けの表現で正解である。代表・一般質問



府内の広報委員集まる



議会だよりは14ページ構成で、議員の一般質問がメイン。1ページ3議員のレイアウトのため、紙面いっぱいに文字が詰まり、読みづらい。空白も文字のうちと指摘する。表紙の写真はどの号を見ても力作で実に素晴らしい、本市も見習うべきと反省をする。

議会だよりは16ページ構成で一般質問がメインとなっている。議員名が小さいのと、質疑の見出しが長いことは、読者にとってはインパクトがない。また、顔写真が無いことは、市民にとっては名前と顔が一致しないことになり、興味が半減になると指摘をした。

視察研修で異口同音に言われるのは、読者にいかに読んでいただくかということに、苦労をしていることである。この点は同感である。

議会だよりは14ページ構成で、議員の一般質問がメイン。1ページ3議員のレイアウトのため、紙面いっぱいに文字が詰まり、読みづらい。空白も文字のうちと指摘する。表紙の写真はどの号を見ても力作で実に素晴らしい、本市も見習うべきと反省をする。

議会だよりは16ページ構成で一般質問がメインとなっている。議員名が小さいのと、質疑の見出しが長いことは、読者にとってはインパクトがない。また、顔写真が無いことは、市民にとっては名前と顔が一致しないことになり、興味が半減になると指摘をした。

視察研修で異口同音に言われるのは、読者にいかに読んでいただくかということに、苦労をしていることである。この点は同感である。

事業仕分けは「構想日本」で

行政推進委員会で取り組む



一層の接遇向上が望まれる窓口業務

Q

職務遂行に対し、スピード感・計画性・

A

住民サービスを第一と考えるならスピード、丁寧、親切が基本である。十分なサービスができるいるか。特に支所ではタライ廻しなつていなか。いいか。職員にはたえず喚起を行い、サービス向上に努めている。

Q

学校教育の充実を

A

判断力・決断力・実行力、仕事に対する責任感・情熱が欠けていないか。市長公室長 研修を通じて能力向上を図り適正な分担・割り振り配置を行い、「やる気」を最大限発揮できるよう努める。

Q

道徳的観念からの教育はできているのか。教育として実践力をはぐく

A

連携は欠かせない。随時指導の一環として電話連絡、家庭訪問など、さまざまな方法で緊密に連携しうまくいくている。

A

くも教育を行い、学校だけではなく保護者に授業参観等にも積極的に参加いただき、協力が得られるよう努力している。教師の指導力向上には公的研修会や、市道徳教育研究会での研修で指導力向上を図っている。

Q

対策は、新型インフルエンザ

Q 行財政改革推進には事業仕分けは避けられない。①事業仕分けの評価は。②職員はどのように受け止めたか。③今後も事業仕分けを積極的に取り組むのか。

A 総務部長 ①事業仕分けを進めるうえの貴重な意見であった。②行政職員として常に意

識改革が芽生えた。短時間での概要説明に回答する難しさを痛感。市長 ③市は積極的に取り組む。

Q 集中豪雨があると、市庁舎周辺が水浸しになる恐れがある。排水が不十分ですべて小川河川に流れている。合同部門があるがこれで対応は大丈夫か。

A 建設部長 平成23年以降体育館は改築、校舎は耐震補強の計画を強計画は。

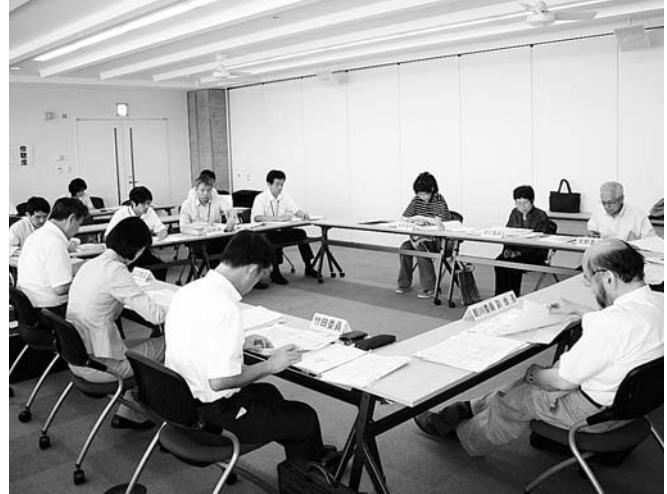
組む。

内水排除の充実を



さくら会 尾崎 輝雄

A 建設部長 現在の排水ポンプ施設は仮設である。強制内水排除施設の建設を国に要望中。



行財政改革の切り札として期待される事業仕分け

一般質問

要望書の取り扱いと対応は

総合的に判断する

Q 広範囲に提出される要望書の提出件数は、優先順位と解決に向けてどうする。
A 総務部長 木津 26
城20件、0件、加茂80件、山県20件。現地を確認し、緊急性、必要性の判断をする。

Q 恭仁宮跡の案内看板置き。
A 市長 検討する。

Q 域長会議において例示で説明する。

A 総務部長 次回、地

Q 国道163号と奈良加茂線と市道とは変則交差点である。改良を要望する。また、不動橋は危険では。商業化は非常に難しい事。

A 建設部長 早期の事

Q 広域避難場所である恭仁小学校の耐震補強は。

A 教育部長 指針が明らかにされた場合、必要な措置をとる。



伸政会
炭本 範子



加茂文化センターでの敬老会

災害防止対策は

積極的に防災対策を進める

Q 総合計画による住民アンケート調査では、防災対策はかなり低く評価されているが、市長はこの評価をどのように受け止めているのか。

A 市長 低いという評価を真摯に受け止め、積極的に防災対策を進めている。

Q 土砂災害の恐れのある地域調査は。

A 総務部長 土砂災害防止法に基づき22年

Q 地域により参加者が減少するなか、今回も同一会場で開催される理由は。

A 市長 高齢者の皆さんのが利用しやすく、

Q 地域ごとの開催で住民融和が生まれるのか。

A 保健福祉部長 参加率の向上を含め幅広く検討する。



伸政会
七条 孝之

設備・収容人数等を勘案し決定。



防災パトロールのようす

一般質問

A **Q**

今後のスケジュール
は。
副市長 平成22年度
に基本設計詳細設計

A **Q**

山城支所の改修計画
は進んでいるのか。
副市長 平成24年4
月を日途に市民サービスを担う新組織として
スタートしたい。

A **Q**

料金体制の整備は。

A **Q**

公共交通バスのあり方

A **Q**

運行ルートの見直し
は。
市長公室長 持続可能な運行体系を構築
し、より利便性の高い運
行ルートに改める。

A **Q**

委託期間は何年か。
教育長 法令上特段
の定めはなく、合理的かつ適切な期間を検討

山城支所の改修は

平成24年3月完成予定



イレブンの会
木村 浩三

指定管理者制度の推進は

加茂文化センターに
指定管理者制度を。

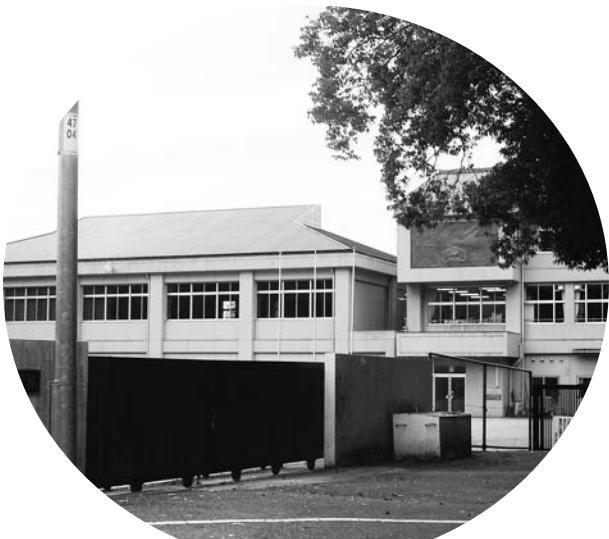
教育委員会において、
社会教育施設の管理運営
のあり方の協議を進めて
いる。

A **Q**

その理由は。
教育長 法令上特段
の定めはなく、合理
的かつ適切な期間を検討



建て替えの方向性が示された山城支所



早期な話し合いが待たれる当尾小学校統廃合問題

山城病院の救急医療体制は

中核病院機能の一層の充実を図る

Q

公立山城病院の救急
の診療科目は。整形
外科の現状と見通しは。

病院の現状をどう考える
か。
市長 現在は内科、
神経外科を含め外科

分野の二次的な治療を中心としている。小児の救急は医師確保が困難なた

め、学研都市病院と輪番制で対応。常勤の整形外科の確保は、現在も府と府立医科大学に要請している。現在は3人の非常勤医師が対応している。

引き続き医師確保に努める。相楽地域の中核病院であり総合病院として、機能の充実が期待されて

請願採択後の委員会は

Q 6月議会で当尾小学校問題として請願書・要望書が提出され、

現状を踏まえ教育の視点から統合を進める。地域説明を行い理解を求める。



伸政会
山本 喜章

A **Q**

当尾小学校PTAの保護者が
何度か話し合いを持たれ
たと聞いている。

早い段階で、地元住民と話し合う。6・7月の教育委員会で請願の内容を取り扱いを協議した。

請願を採択した。その後の地元対応と内部の検討は。

A **Q**

その理由は。
教育長 法令上特段
の定めはなく、合理
的かつ適切な期間を検討

A **Q**

請願を採択した。その後の地元対応と内部の検討は。

子や孫の未来につなぐ行財政改革

次世代に説明責任果たす市政展開



出水期前に実施している河川パトロール

Q 広報紙「きづがわ」において9月号より行財政改革を特集するシリーズ、子や孫の未来につなぐ、が連載される。このシリーズを連載され狙いは。

A 市長 子や孫の世代までの将来を見据えて、市が行財政改革を進

めていることをお知らせすること、市が行つて、いる事業内容を公開して、問題提起していくことにより、市民にも行財政改革を考えていただき議論をしていくためのもの。

地方分権が進む中、収入を増やし支出を削減す

化することが不可欠。

Q 市長自身、子や孫の未来につなぐ、行革シリーズで連載される思いを問う。

A 市長 将来を見据えた市政運営を進め、子や孫の代まで負担を残

さないという信念を持つて、安心して暮らすことができる木津川市を引き継ぐ。

税金が財源であること認識して、子や孫の世代になつても説明責任を果たすことのできる市政を展開していきたいと考

さくら会
吉元 善宏

南地区の交通安全対策早急に

都市再生機構（UR）に強く要望

公明党
織田 廣由

河川管理は十分か

Q 市には数多くの河川があるが、川底の雜草の繁茂等管理がいきどいていない河川が見られる。対策は。

A 総務部長 土地区画整理事業法に基づいて開発された地域で、カーブミラーの件は事前協

議の対象になつてはいない。しかしその地域からは43カ所の設置要望が出ている。市で精査をし、先ず13カ所の設置を開発者のURに要望している。引き続き強く要望活動をしていく。

他に、JR加茂駅東公園の件、多岐にわたり質問した。

A 建設部長 理する一級河川は（新川等）16、市が管理する準用河川は41。準用河川のうち、通水面が不適切な場合は、浚渫や除草作業をし維持管理に努めている。

国府に対しても常に適切に管理するよう強く要望している。



子や孫の世代まで考えた財政運営を

一般質問

Q 税金5億円弱も投入する補助団体へのチエックは実行されているのか。既得権化してはいかないか。機械的、前例主義的に補助をしていないか。補助団体が毎年変わらない、こう着した状態は市民の理解が得られないのでは。

Q 我孫子市に習って3年毎に白紙に戻し第

A 総務部長 実績報告書と収支決算書を提出させ精査している。行政改革アクションプランで交付基準を見直し、評価システムを作る。

A 総務部長 伸政会に毎年白紙に戻すのでなく

A 総務部長 伸政会に毎年白紙に戻すのでなく

Q 予算は通っているのに車庫の設置が滞っている。南加茂台住民7000人弱、家屋2200戸の生命と財産を守っている消防団員18人が望している。

A 総務部長 いつたん

Q 約5億円の補助金のチェックは交付基準などを見直す



伸政会
深山 國男



開園が待たれる幼稚園

木津ヶ丘幼稚園、その後の状況は

22年4月開園は非常に厳しい

Q 6月議会以降進展はない。木津川台市民は、心配している。そこで、①来年4月開園に向け、常徳学園との意思確認は。②係争中の施工業者との話し合いの状況は。③市と近鉄との協議・調整状況と、その内容は。④4・5番地の土地譲渡は協定書に違反する。市の考えは。

A 副市長 ①③双方弁護士で協議・調整中で、22年4月開園は非常に厳しい。②係争中の問題は解決の方向である。

Q ごみ収集方式を問う

A 市長 ①収集方式の基本方針は。②新たな住宅開発の取り扱いは。

A 生活環境部長 ①今後市民の意見を踏まえコストが安い。そこで、



伸政会
西岡 政治

運賃運行形態の見直しを

Q 山城コミュニティバスの運賃・運行形態を改め①区間運賃制にしては。②土日・祝日の運行を。

A 市長 ①見直しの際には、区間運賃制を含め検討する。

A 市長 ②日常生活の利便の確保を優先する立場から、現行どおりとする。



求められる団体補助金のあり方

国家百年の計は教育にあるのでは

国や府の教育改革に向けて検討中

Q 教育の多様化とコスト意識の対応について問う。

A 教育部理事 昨年度の市負担額は、一人小学生約47万円、中学生約24万5千円。国や府の教育改革に向け、教育施策を踏まえ、地域や家庭の状況を活かした取り組

み、教育実践に努める。学校嫌いをなくすため、原因を調査し、職員一丸となり対応する。

眞の自由の育成に道德的実践力を養い、生徒一人ひとり、しつかり把握し個性を伸ばすため、教師力の向上と基本・専門研修を通じ相互に研鑽を



さくら会 阪本 明治



観光振興の起爆剤として期待される平城遷都1300年祭

「私のしごと館」の存続要求を

国に強く要望していく

Q 就職支援が不可欠な時代で、物作りを学ぶ施設は重要である。「私のしごと館」は残すべき施設であると考える。政権が変わった今こそ、国に要望すべきである。

A 市長 学研都市に必要な施設として有効活用するよう、国に強く要望していく。

Q 平城遷都1300年祭や国民文化祭等の施設であると考える。政権が変わった今こそ、国に要望すべきである。

観光行政の充実を

A 生活環境部長 新観光協会設立に向けた準備会を早急に立ち上げたい。



イレブンの会 曾我千代子

A 市長 公務員に対する不信感を払拭できるような職員研修を続けていきたい。

Q 子育て中の職員に父子手帳を作成させ、その配布で子育て支援をしてはどうか。

A 市長 検討していく

Q 地域に開かれた学校助教員を配置して、職員間の意思疎通と共通理解を深める。

A 教育部理事 生徒たちが興味関心を持つよう工夫し、校区の状況を活かし、学校公開、地域ボランティアの方々の協力を得た様々な教育活動を通じて地域に開かれた学校をめざす。



心の教育大切に

一般質問

Q 議会は、自治体の重要な事項を審議し決定する議事機関である。論点や争点を開示し開かれた議会と地方分権に向けて、議論の高度化が求められる。そのため、議案の結論に至った過程を示す補足資料の積極的提出を。

Q 議会基本条例を制定した先進自治体では、重要な政策等の場合、政策形成の過程について市長の説明責任と7条件

議会の議論を深めるために
審議資料提出の方向で取り組む



仲政会
大西 宏

A 市長 今後も、論点を把握しやすく審議に必要な資料を案件に応じて提示する。

A 市長・市長公室長 資料の提出は前向きに取り組む。



さらなる議会改革を



竹炭で浄化作戦

赤田川汚染を許さない

関係団体と調整していく

Q 会派調査で赤田川の水質を検査した。

Q 上流ほど汚染が悪化、人為的汚染は明確である。早急な対策を。

A 生活環境部長 奈良市、府とも連携し監視活動を続けていく。

Q 七夕まつり復活を求める署名が、7月7日地元主催のまつりにおいて、短時間で1422人分集まつた。

Q 平日でも2・5万人の人が集まる魅力ある夏まつりは、費用対効果の面からも復活すべきでは。

Q 流行期に入った今、山城病院のタミフル備蓄量は把握しているのか。

Q ワクチン接種費用を市独自で負担する考えは。

Q 熱き思いの声をいかせ

A 市長 来年度に向けて、検討委員会を設置し開催に向けて検討する。

Q インフルエンザ対策は

Q 着物での参加が多く、美容室などの予約が早い時期に必要となる。広報で早く知らせるべきだ。

A 教育部長 10月号に掲載。1月11日、午後1時、中央体育館で開催。

成人式の日程は

A 保健福祉部長 現在、備蓄は把握していない。すぐに調査する。ワクチン接種は、市独自の補助は考えていない。



イレブンの会
高味 孝之



公民館の有料化は約束違反

市民に不公平感があり、統一した



乗車200万人を突破したきのつバス

A 市長・市長公室理事
 ①収支だけでなく住民の利便が大事。赤字だ
 ②最低制限価格を下回る効果は。

Q ①国の指導で最低制限価格を引き上げた結果は。

Q 住宅困窮が入居の第一条件。市税滞納な

Q 滞納者にも応募資格を

Q 障害者福祉タクシーの利用が困難な方は、医師の意見書で交付対象に含める。

Q 公民館サークルの有料化は合併の約束違反。公民館事業は全市に拡大すべき。財政難なら緑化協会等の存続を検討すべき。現在基金利子は見込めず、事業運営の96%が委託金。シルバー人材センターや緑化友の会への委託など検討し生涯活動の支援を。

A 市長 緑化協会の役割について、十分検討していきたい。
教育長 市民に不公平感があり、料金と減免の統一をした。

自校給食は存続すべき

Q 木津給食センターの5000食調理は限

A 教育部長 自校給食のセンター移行は平成23年4月と考えている。的確な児童数の把握に努め超えている。事故も起きた。中央地区開発も含めて調理数の見通しは的確か。将来の調理数不足も念頭に自校給食は存続すべき。

Q 木津川台など信号機設置の要望が出ている中、小学生の交通事故が起きた。府予算の拡大要望をすべき。

日本共産党
村城 恵子

め、給食のあり方検討委員会で検討する。

信号機設置に府予算を



信号機の設置が待たれる加茂駅東

乗客200万人感謝、利用促進を

日本共産党
宮嶋 良造

A 市長 できない。
Q 福祉タクシーの拡大を

A 建設部長 入札が多い、低入札価格調査制度の導入は。

Q ①品質の確保、人件費・安全費の向上を期待する。
 ②考えていない。

Q 障害者福祉タクシーの利用を拡大を。

A 市長 上肢機能障害1・2級で、バスの利用が困難な方は、医師の意見書で交付対象に含める。

一般質問

商工会館の取り組みは。
②市道335号の整備は。
③木津駅前整備の取り組みは。また、市有地3300m²の活用は。

備は年度内に完了予定。
22年度は北側・西側道路の
23年度は用地買収を行う
西側・南側の道路整備を
する。
商工会館は、移転先の
解体を来年2月に行い、
23年末に建設予定。

建設部長 ②用地交渉が難航しているが、早期に道路整備に着手したい。
③96%の進捗状況で、民間の開発誘導を念頭に有効利用を図りたい。

A 建設部長 ①道路整備とあわせ、規制を緩和的に進める。②公安委員会に要望する。
市長公室長 ③接遇向上に努める。

早急なる庁舎周辺整備を

中心市街地の活性化につなげる

① 厅舎周辺の今後の整備計画は。また、商工会館の取り組みは。

取および、建物補償などをしてい。東側道路整備は年度内に完了予定。

伸政会
伊藤紀味枝

あの質問はどうなつた

①市道335号における車の夜間規制を

②梅美台小学校周辺の信 号機と横断歩道の整備を

③職員の接客が適切に対応できるように指導を。

A 建設部長 ①道路整備とあわせ、規制な

ども関係機関と調整し給合的に進める。②公安委

員会に要望する。

に努める。



備蓄の進む新型インフルエンザ対策

新型インフルエンザ対策は全庁で

対策会議を開いて協議

Q 一見おさまったかの
ように見えた新型イ

Q 一見おさまったかの
ように見えた新型イン
フルエンザが冬を迎え
て猛威をふるう可能性が
大きくなつた。

との連携は、調整会議等の開催状況は、学校、幼稚園、保育園などの学級閉鎖や学校閉鎖を臨機応変におこない、パンデミックがおきないようになりますべきである。

に休ませるなど、全市民
全職員の関心を高める施
策をしてもらいたい。

にも手洗い・うがいの徹底やマスクの着用など周知した。ワクチン接種の生活窮者への援助は国の動向を見ながらやる。教育委員会としては、学校・園長会を開き、関係機関が緊密な連携を図りながら対応していく。



さくら会
出票 伸幸



早急な整備の待たれる庁舎周辺

発注条件を義務化に改善すべき

活性化に向け問題点を検討

Q 地元建設業および商工業者の育成の考え方

し進める。

A 市長 難易度の高い工事、JV（共同企業体）構成員の参加要件、技術力を学ぶ機会を設けている。

Q 難易度の高い工事とはどの程度の工事を示すのか。

A 建設部長 監理技術者に実績を求め、予定価格が1億円を超えた工事。

Q 市内業者とJVを組めるように改善した内容は。

A 建設部長 市内業者の参入機会が全くなく、JVの構成員として参画できる資格を定め、自主結成とし一定配慮は行つたと考えている。

Q 市内業者の育成をいうなら、自主構成ではなく、地元業者との義務化（規約）を発注条件に改善すべきでは。



政和会
梶田 和良

安全な山城支所を、早急に

予定より前倒しするよう努める



さくら会
倉 克伊

地域に応じたバス事業を

Q 耐震不足の山城支所および福祉センターは、早急に工事にかかるべきと考へるが、市の対応が遅い。補正予算での対応も必要と思うが。所のあり方も含め、多くの課題を検討し、平

A 副市長 市全体の支所のあり方も含め、行財政改革推進委員会の仕分け作業や、

成24年4月から新たなスタートをする予定だが、改修工事は、前倒しするよう努力する。

市の広報の記事によれば、バスの運賃の値上げや路線によっては廃止や見直しも必要とされた。運営上、一定の見直し基準は必要と思うが、福祉的要素や公共性を考へれば、地域の実情に応じた対応が必要と考へる。

A 市長公室長 行財政改革の視点から一定の見直しは必要と考へるが、公共性・福祉的役割も含め、地域性も考慮し持続可能な運行をめざす。

Q 地元建設業および商工業者の育成の考え方

A 市長 難易度の高い工事、JV（共同企業体）構成員の参加要件、技術力を学ぶ機会を設けている。

Q 難易度の高い工事とはどの程度の工事を示すのか。

A 建設部長 監理技術者に実績を求め、予定価格が1億円を超えた工事。

Q 市内業者とJVを組めるように改善した内容は。

A 建設部長 市内業者の参入機会が全くなく、JVの構成員として参画できる資格を定め、自主結成とし一定配慮は行つたと考えている。

Q 市内業者の育成をいうなら、自主構成ではなく、地元業者との義務化（規約）を発注条件に改善すべきでは。



新設される学校給食センター

一般質問

新型インフルエンザ対策は万全か

的確な情報周知に努めてきた



市民農園の開設を

教育委員会は説明責任を果たせ

早期に実施し、公表する

山の家の規程を適切に

Q 教育委員会の情報発信は少ない。①会議

の日程、会議録などをHPで公表せよ。②法の改正により点検・評価の実施と議会への報告・市民への公表が義務づけられた。未だなされていない。

②早期に実施し報告する。

Q 加茂青少年山の家は、規程のみの管理。適切か。今後見直すべきでは。

A 教育長 合併時に府の指導があり、規程とした。運営に関わり、検討が必要である。

Q ①農振除外の手続きや進め方を公表せよ。②農地を守る立場で、市民農園開設をサポートせよ。

A 市長・建設部長 ①HPなどを活用し、



呉羽 真弓

周知する。②民間による市民農園開設を進める。
事業仕分けを効果的に

市民農園の開設を進めよ

Q 昨年の9月議会で事業仕分けを提案した。

本格実施に向け、改善を。①効果の認識は。②今後は。③公開度が不十分。

A 市長・総務部長 ①説明責任の再認識。②10月に第2回を予定。③できるだけ公開する。

Q 新型インフルエンザ次の項目の対策は万全か。①市民への周知は。②病院、開業医との連携は。③マスク、ワクチンなどの確保は。④園、小・中学校の学級や学校閉鎖の基準は。⑤学校などの行事の対応は。

A 保健福祉部長 ①広報紙等で予防対策や受診方法などの的確な情報周知に努めてきた。②山城病院や相楽医師会も参加し、適切な医療の提供のためにお互い連携を密にしてきた。③マスク、手袋、消毒液を準備している。さらに今回の補正

予算で増強する。

Q 教育部理事 ④特定の学級において感染が疑われ、かつ、7日間の内に複数名の症状の事例が発生した場合関係者と協議のうえ閉鎖する。⑤状況により延期、または中止の措



日本共産党
森岡 讓

Q 旧木津町の夏祭りを今後どうするのか。

A 生活環境部長 イベントの開催に向けて検討委員会を設置し、どんな形で実施できるか予算組みの関係も含めて検討する。

ひとときの夏の楽しみに



夏の風物詩 花火大会

わたしの
喜び

このコーナーへの投稿を、
お待ちしています。

まちづくりへの 提案



小林 凪之さん
(山城町上狛)

その後、泉大橋の架橋に伴い、車・人の流れが旧泉大橋から減少し、それぞれの商店街の客足も遠のき現況に陥つたと考えられます。これらからの脱却として、

お知らせ

12月定例会は12月3日(木)からはじまります。

新メンバーになつて2回
目の発行です。

各議員から原稿（食材）
を提出してもらい、これを
どのように料理して、市民
の皆さん方においしく食べ
ていただくか。委員全員の
腕の見せどころですが、全
員頭を悩ませ、知恵を出し
合い、熱心に議論し、何回
も校正して発行していま
す。

一人でも多くの方に親し
みを持つて読んでいただけ
たらと、委員一同頑張つて
いますので、ご愛読のほど
よろしくお願ひします。

広報編集委員会

委員長
副委員長

伊出酒高吳宮阪島片村
藤栗井味羽鳴本岡城
紀味伸弘孝真良明 惠
枝幸之一弓造治均廣子
予

里山再生の 政策を望む



宮本 良一さん
(南加茂台)

木津川市としては、三町のバランスを考えた上の結論だと思います。

は、今まで楽しみにしていました七夕まつりや花火大会が一度に無くなつて、大変残念でなりません。子どもの手を引き、孫の手を取り、一緒に楽しんだことは、地域の子育て支援になるのではないかと思います。

「二十一世紀は環境の世紀、水で戦争がおきるだろう」と国連は警告しています。水の源泉は森林、浄化は山の土壤。森が荒れては

私は、山仕事を楽しみながらのボランティア中です。相楽の各地では「里山」への取り組みがさかんですが、木津川市はどうなんでしょうか。人口が減少し過疎化がすすむ時代。数十年先を見据えた施策を望みます。

「河川」も荒れる。森は二酸化炭素を吸収し酸素をつくる。日本は「木を植える文化」がある世界でめずらしい国らしいが、それでも森は荒ってきてきた。

私の願い



三枝 和代さん
(木津町瓦谷)

編集後記